

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
04010105

1. 計画名称

観光振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	古民家再生事業、滞在交流プログラムの充実など観光まちづくりのための具体的事業が、計画から遅れていることにより、観光振興ビジョン全体の進捗状況に影響。
今後の重点化施策番号	1	説明	各施策は、推進機構と連携した観光まちづくりの推進が根拠となっている。新組織を支援し充実化が図られれば、市観光振興に寄与するものと捉えている。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	観光を支える人材・組織の充実	やや遅れている	地方創生推進交付金を活用するとともに地域おこし協力隊制度を活用し、地域と協働した交流プログラム作りを実践したことが、結果として住民参加者(担い手)拡大に繋がった。造成したプログラムや地域の魅力を発信するための誘客ツールについても計画のとおり作成を進めることができた。	地域再生計画上のKPIを超えた実績値となったが、2022年の単年度2,000人の参加者実現に向けては、年を追うごとにハードルが上がる。また、推進機構の収益は十分とは言えず、KPIに表れない組織運営の部分では、推進機構の自立に向けて、まだ課題がある。	2019年度は地方創生推進交付金を活用できる最終年度に当たる。推進機構が実施するプログラム造成等の事業に対し、組織の自立化(自主財源強化)を目標として最大限に支援する。特に交付金要件に則した事業組立を地域おこし協力隊員とともに検討し、円滑かつ効果的な事業実施に導く。
2	多様な観光地の魅力を活かした滞在型観光の推進	おおむね順調	地方創生推進交付金を活用するとともに地域おこし協力隊制度を活用し、地域と協働した交流プログラム作りを推進することにより地域再生計画上のペースを超える実績を上げている。また、駅前案内所がJNTOの外国人案内所認定を取得するなど、インバウンド誘致に向けても取組をスタートすることができた。	推進機構の方針として、個人観光客のニーズを優先したプログラム開発から着手したこともあり、通年型のプログラムや大人数参加型のプログラムの造成が不十分。プログラムの造成数の増進に比べ、利用者数は伸びていない。	引き続き地方創生推進交付金を活用しながら推進機構によるプログラム拡充を支援し、年間を通した提供体制を整えていく。大人数が参加できるプログラムを造成するため、造成の優先順位を協議していく必要もある。併せて推進機構が目指す滞在型観光の鍵となる古民家再生事業に対し、同交付金を活用して支援していく。
3	新しい発想による観光資源の創出～観光を横軸にした産業連携、まちづくり	やや遅れている	地方創生推進交付金を活用するとともに地域おこし協力隊制度を活用し、地域と協働した交流プログラム作りを推進することにより地域再生計画上のペースを超える商品造成に繋がっている。また、交流や文化発信の拠点となる古民家整備を進めるため、推進機構が独自に国庫補助の交付を受け、実施設計を完了させている。	推進機構の方針として、個人観光客のニーズを優先したプログラム開発から着手したこともあり、通年型のプログラムや大人数参加型のプログラムの造成が不十分。プログラムの造成数の増進に比べ、利用者数は伸びていない。	推進機構への支援の中で、大人数が参加できるプログラムを造成するため、造成の優先順位を協議していく。併せて地域と来訪者の交流を生み、文化の発信拠点となる古民家再生事業に対し、地方創生推進交付金を活用してハード面を支援するとともに関連するソフト事業の造成を支援する。
4	観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進	おおむね順調	・蓼科湖の遊歩道整備が進み、湖周の景観を楽しみながら一周できるようになった。 ・ハケ岳の森林環境保全の課題であるシカの樹木食害について、初めて食害防止の樹皮ネット設置作業を実施することができた。	・白樺湖周辺の公衆トイレの老朽化が進み、自然環境を楽しむための観光客にとって気持ちよく利用できるとは言えない状況である。 ・外国人旅行者への対応に必要なと思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れている。	・観光地公衆トイレの整備計画については、例えば白樺湖畔の活性化計画等の周辺地域全体の活性化計画と合せて検討し、年次的に今後の整備を進めていく。 ・Wi-Fiや多言語対応ツール等外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、すぐに対応が難しいものについては、計画的な整備や対策を検討していく。

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	観光ビジョン推進委員会	・若い世代やインバウンドに力を入れ、SNSでの発信し拡散するのはどうか。 ・DMOのツアーや古民家事業には期待しているので、連携していきたい。 ・御射鹿池の公衆トイレ整備は増加する観光客の需要にあっている。	・引き続き推進機構の取組を支援していき、今まで来訪のなかった層の取り込みを進めていく。 ・地元観光団体等と連携を図りながら、観光環境整備を充実させる。
開催回数	1		
参加延べ人数	13		
関連市民団体等名称	産業振興ビジョン推進委員会	特になし	特になし
開催回数	1		
参加延べ人数	14		

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」